

子供の犯罪被害防止へ、あいりちゃんの父親らHP開設

広島市安芸区の木下あいりちゃん(当時7歳)が殺害された事件で、父親の建一さん(39)と支援者が、全国の子どもたちを犯罪から守るために、ホームページを開設した。建一さんが愛(まな)娘(むすめ)への思いをつづるブログもあり、「私たちが生きている限り、あいりの生きた証しを伝え続けていきたい。幼い命を奪われる悲惨さをずっと忘れないでほしい」と訴えている。

ホームページの名称は、あいりちゃんが「人は死んだらお星様になるのね」と話していたことから、「星になったあいり」と決めた。自分の命より大切な宝物を奪われた家族の悲しみを訴え、「残虐で卑劣な事件」を繰り返さないために、「加害者に自分の罪を自覚させる判決が必要」と署名を募るコーナーもある。

ブログでは「子供たちがこれ以上犯罪に遭わないように活動します」と紹介。建一さんは「日常生活で感じるあいりちゃんへの思いをつづり、写真なども掲載したい」とし、自宅ベランダで孵化(ふか)し、あいちゃんと名付けたハトの巣立ちの様子なども書き込むつもりだ。

1審・広島地裁で無期懲役判決を受けたホセマヌエル・トレス・ヤギ被告(34)の控訴審は今春にも広島高裁で開かれる見込みで、建一さんは今月30日に、集まった署名を検察庁に提出するという。ホームページのアドレスは<http://members.goo.ne.jp/home/arigatou2006>

(2007年1月26日 読売新聞)

写真の拡大 



建一さんが開設したブログ「星になったあいり」